

# 市民フロンティア



CS 神戸は、**自立と共生**を目指し、より良い社会のために主体的に活動する人々をサポートするとともに、自らの活動を通じて、誰もが尊重され支えあう地域社会の実現をめざします。

2016年2月25日発行 **通巻 78号**



## 新春のつどい

～ CS 神戸を支えてくださっている皆さまへ感謝とともに ～

1月8日、2015年度新春のつどいを開催しました。今回も50名以上の参加を得、いつも支えてくださっている会員およびボランティア・関係者の皆さまと楽しいひと時を過ごすことができました。日頃ゆっくりとお会いすることができない皆さまへ今年度の事業報告もおこない、活動へのご理解と激励のお言葉を頂きました。今年のゲストはプロのギタリスト島崎陶人（とうじん）さん。クラシックギターによる生演奏は、繊細かつダイナミックな指さばきで圧倒されました。



また、当日正会員の安元さんが持参された歌詞カードを配布し、ハンドベルとともに全員で合奏しました。終始和やかな雰囲気にも包まれた会場は、終宴の挨拶の後も参加者の方々と話が尽きることなく、スタッフ共々楽しい夜を過ごすことができました。（長井）

## スタッフ研修実施

～ 20周年にむけて、CS神戸の歴史を振り返りました ～



昨年12月23日（祝）、CS神戸事務所に今年度入職者からベテランまで、30～70代の所属プロジェクトも様々なスタッフと役員の合計21名が集まりました。CS神戸初期の主要なプロジェクトレビューを中村理事長・坂本副理事長から聞いた後、グループに分かれてCS神戸の中間支援や組織運営などに現れている価値観・文化の「見える化」のためのワークショップを行いました。参加者にとって初めて聞く話も多く、星野トータルアドバイザーの“解説”に助けられてCS神戸に空気や水のように横たわる“姿勢・価値観・文化”といったものが徐々に紐解かれ、研修会は盛り上がりました。



昨年は阪神大震災から20年。あの震災から生まれ、今年で20年目を迎えるCS神戸では、20周年記念誌発行に取り組むことで、「被災者と支援者の関係性をどうとらえてきたのか」、「市民自身が作る中間支援組織としてどういう立場で市民を支えてきたのか」、「行政や企業とどう付き合い、地域社会というものをどう考えてきたのか」といったことを明らかにしようとしています。20周年記念誌の発行予定は今年末ですが、コミュニティに関わろうとする一人ひとりの市民・中間支援等の関係者に不可欠な理念のようなものを少しでも明らかにできればと考えています。

（藤本）

# プロジェクト密着レポート!



## 「ここでつながる、ここからはじまる。」 まちづくりスポット神戸 (愛称: まちスポ神戸) の魅力



“企業との協働”という CS 神戸の新しいプロジェクトの形態のひとつ、「まちづくりスポット神戸 (まちスポ神戸)」は、垂水区のおしゃれな商業施設「BRANCH 神戸学園都市」の一角にあります。ここは「まなぶ」「情報」「相談」「つなぐ」「集う」のキーワードをもとに大和リース (株) と CS 神戸が協働で運営しています。2013 年のスタートから 2 年間で 49 の地域団体・グループが登録し、多様なつながりのもとで地域に根を張っています。企業・地域・大学と様々なつながりを作り、まちづくりに奮闘しているスタッフに「まちスポ神戸」の魅力をインタビューしました!

### 施設紹介

#### ①コミュニティルーム

建物 1 階にある一般の方々も利用できる「多目的スペース」です。買い物ついでに偶然に寄られる方も多く、たくさんのお会いやつながりが生まれやすいことも利点です。広い屋内スペースなので雨の日でも安心してママと赤ちゃん達の集い場となり、登録団体の活動の場や子ども達や団塊世代の習い事会場としても利用されています。



広々とした空間。キッチン設備も完備しています (有料)。



火曜日はふるーと共催しているママと子のリラックススペース「Baby ガーデン」を開催。



#### ②交流スペース

まちスポ神戸を応援して下さるサポーター (ボランティア) や登録団体が活動拠点として活用できる「登録会員専用の多目的スペース」です。スタッフの事務所も併設しています。



キッズコーナーがあり、常連の親子連れが立ち寄ってスタッフと談笑する姿も見られます。向山マネージャーをはじめ、スタッフが様々な相談をうけて、ここから「地域活動ははじめの一步」が始まります。



#### ③BRANCH ベジガーデン

屋上に設置されたプランター菜園で春夏野菜と秋冬野菜の年 2 回「兵庫県立大学・まちスポ神戸連携講座」を開催しています。淡路景観園芸学校の教授や教員から直接指導を受けられることもあり、毎回大人気です。この講座は、野菜作りを通じた交流を目的としています。登録団体「Team ベジガーデン」のサポートもあり、学びと受講者同士の仲間作りの「場」となっています



身近な場所で、プロの指導をうけながらの野菜づくり。自分で育てた野菜の味は格別!



### スタッフ紹介

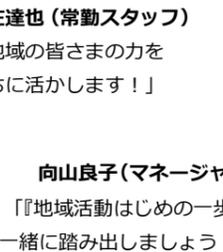
NPO 活動、企業、デイサービスでの運動トレーナー、子育て等、多様な経験を持つスタッフがそろっています。和気あいの家庭的な雰囲気の中、それぞれの視点と役割を持ってお待ちしています。



津野亜由未 (スタッフ)  
「皆さんと『いっしょに考える』  
窓口でありたいです!」



新庄達也 (常勤スタッフ)  
「地域の皆さまの力を  
まちに活かします!」



向山良子 (マネージャー)  
「『地域活動ははじめの一步』  
一緒に踏み出しましょう!」

### スタッフに聞く! “つながりの極意”



#### 利用団体、利用者層の特徴は?

利用団体・利用者ともに **30~40 代の子育て世代**が多いです。垂水区北東部はこれから小学校も新設されるほど子育て世帯が増えている地域です。まちスポ神戸が主催する「まちそだて講座」でも、子育て支援に関心のある参加者が非常に多く、**ママ達が自分の力で暮らしやすい街をつくることに積極的**です。この講座の受講生から、地域活動のグループやボランティアスタッフも生まれました。



#### 企業の商業施設内での運営と、他の公共施設での運営は違いがありますか?

一番大きな違いは、NPO やボランティアに興味がない方へ「**お買物**という日常の中で**アプローチ**できること」です。気軽な場所・雰囲気なので、NPO や地域活動への敷居が低くなって身近に感じてもらうことができます。地域住民×企業に NPO が加わることで、三者が共に**商業施設でまちづくりに取り組む**という新しい関係性を結ぶことができました。また、大和リース (株) の担当社員の方々が率先して NPO を学び、周囲の方々に広げてくださることで、NPO や地域活動についての理解がすすむことも嬉しい現象です。



#### 地域とまちスポをつなぐ工夫はありますか?

①まちそだて講座、②まちそだて相談、③地域活動はじめの一步 (助成) の 3 ステップで地域とのつながりを作っています。まちそだて講座では、垂水区役所まちづくり課や兵庫県立大教授に講師としてご登壇いただき、官・民・学による講座となっています。講座終了後は、学びをカタチにできるようにまちそだて相談で個別にフォローしています。まちそだて相談では、すでに活動を始めている団体の運営や会計相談をはじめ、仲間と会を立ち上げる相談にも応じています。最近では、地域の集会所や空き家を活用した居場所づくりについての相談が増え、サポーター登録者や講座修了生をボランティアや担い手として相談者に紹介したり (マッチング)、ふれあいのまちづくり協議会・社協・あんしんすこやかセンター等と連携し、**地域全体を巻き込んで**活動を支援しています。また、「地域活動はじめの一步助成」、「学生コミュニティ活動応援助成」の助成制度を設け活動を支援。審査は双方の思いを交わす場であり、プレゼンテーション体験は、団体の成長の機会となっています。各種会議や講座には大和リース (株) 社員のみなさんが出席されることも多く、行政・企業・大学・地域団体と多彩なつながりができています。



Daiwa Lease 神戸支店支店長 伴和史氏

大和リース (株) さんに「まちづくり」への想いを伺いました。弊社は全国で 144 ヶ所の商業施設を運営しています。我々は商業施設を単なる買物の場とは考えていません。**商業施設も地域社会の一員**であり、そこで暮らす人々、そこで学ぶ人々、そこで働く人々と共に、地域の課題と一緒に解決していきたいと考えています。そのため、全国 5 ヶ所 (※) にあるまちづくりスポットはまちづくりや地域活動にノウハウを持つ地元 NPO 法人と協働で運営しています。まちスポは単純な CSR (企業の社会的責任) の場ではなく、地域の方々と共に我々も一緒に活動する場と考えています。  
※飛騨高山、稲毛、神戸、茅ヶ崎、恵み野 の 5 ヶ所

## 第 2 回理事会を開催

11 月 18 日、CS 神戸第 2 回理事会を開催しました（委任状含め理事全員の 6 名が出席）。主な議題は「上期事業報告と中期決算」と「下期事業計画および修正予算」で、いずれも審議の結果、承認されました。また、来年 20 年を迎える CS 神戸の 20 周年記念事業に関しても活発な議論がされました（記念事業の詳細は決まり次第お伝えいたします！）。（飛田）

## ダイジェストニュース

～ 動きのあるプロジェクトをピックアップしてご紹介！ ～

## 【市民活動支援部】

**生きがいごとサポートセンター神戸東**・・・決算のことが気になり始める 1 月、2 月。活動は大好きだけど、会計は苦手・・・という人たちを対象に、NPO 決算準備セミナーを実施しました。続けて 3 月 5 日には CB 起業セミナーを予定しています。



**全県活性化事業**・・・12 月に丹波の方々 11 名が淡路島の先進 C B 3 事例を見学、交流し、1 月には丹波に新たに N P O を設立しようとしている団体が市川町のフリースクールで見学研修をしました。3 月完成を目指して C B 事例集の作成に取り組んでいます。

**地域 CB 支援事業**・・・11 月から始まった相生市での連続講座が 1 月で終了。2 月 3 日にはオプションツアーとして、相生市役所職員や受講生の方々が地域の居場所を 2ヶ所見学しました。

**生活支援・介護予防サポーター養成研修**・・・東部・西部ブロック合わせて 115 名の方が修了。介護保険法の改正を見据えて、地域での生活支援サービスや助け合いの仕組みづくりに取り組んでいます。3 月 10 日・11 日はフォローアップ研修を予定しています。



## 【地域活動事業部】

**JR 住吉駅前駐輪場**・・・手書きだった日報を各人 PC に変更。今後も IT 化を進めます。

年末の地域クリーン大作戦は駐輪場だけでなく周辺地域まで綺麗に。

「地域を皆でクリーンに」というポスターを掲示し、利用者や通行人にも協力を依頼しました。

**東灘区民センター小ホール**・・・おもちゃ交換とゲームを通じて楽しく防災を学べる「イザ！カエルキャラバン！」を開催。地元の方、高校生、大学生にも防災に関するブースを多数出していただきました。総参加者なんと 600 名！大盛況でした。

**生きがい活動ステーション**・・・まちスポ神戸と同時開催で居場所サポーター養成講座を実施しました。店舗や自宅の一部を使って居場所をやりたい！という方 18 名が受講しました。3 月 18 日には上野千鶴子さんをお招きして、セミナーも予定しています。



## 会員・寄付

～ 応援いただき、ありがとうございます！ ～

(2015 年 11 月 8 日～2016 年 2 月 8 日)



ありがとう

## 【会費】

中村厚子、臼井隆夫、田辺友也、小林善徳、山本好克、山本容子、有友ひとみ、菅祥明、前東ふみ子、藤本傑士、岩崎信彦、大島勝子

## 【寄付】

津田久雄、黄田昭子、太美京、中村順子、飛田敦子、狩野仁美、向山良子



**2015 年度の会費継続をお願いします** 市民活動を共に支えてくださる賛助会員（個人・団体）の方々を募集しております。

## 【会費】

個人会費：3,000 円／年

団体会費：10,000 円／年

## 【振込先】

名義：特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸

郵便振替 00950-2-144205

## 認定 NPO 法人 コミュニティ・サポートセンター神戸 (CS 神戸)

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町 5-2-2 ビュータワー住吉館 104

2016 年 2 月 25 日発行 通巻 78 号

TEL：078-841-0310/FAX：078-841-0312/E-MAIL：[office@cskobe.com](mailto:office@cskobe.com)

発行人：中村順子 編集人：長井明子

※ 2015 年 12 月末より、代表メールアドレスを変更しています。【旧】[info@cskobe.com](mailto:info@cskobe.com) → 【新】[office@cskobe.com](mailto:office@cskobe.com)

**編集後記** 春がやってきました！花の香り、やわらかい風。暖冬であっても縮こまっていたのか、春がくると心も体もやわらいでくるようです。(N)